

新生児科ユニット

看護師長 川村 美穂子

1 部門目標

チーム医療を推進し、赤ちゃんと家族を住み慣れた地域での暮らしにつなぐ、質の高い看護を提供する

2 業務体制・スタッフ

病棟：NICU 21床（2017年10月1日 15床より増床）

看護師配置 常時 3：1

GCU 25床

小児入院医療管理料1を取得

外来：乳児検診、発達外来、一ヶ月検診

看護師 59名 看護補助員 1名

（NIDCAP professional 2名 NCPR インストラクター1名

感染管理認定看護師 1名）

3 業務実績

NICU 稼働率 76.9% GCU 稼働率 49.9% 入院患者数 270名

死亡件数 3件

4 1年間の総括

チーム医療として多職種との連携により、退院支援の同行訪問やリハビリの体制を構築した。この多職種連携体制を継続し、今後医療的ケア等で入院が長期化する児の支援を行うことで適切な時期の退院と地域との暮らしにつなげる支援を実践していく。また、地域周産期医療センターとしての赤ちゃん中心の看護、家族の思いにより沿った看護の実践のため教育体制のスピードアップをして取り組み看護師個人のキャリアアップにつながりリーダー層看護師の育成も進んでいる。しかし新生児看護経験年数が4年以下の看護師割合が半数であり、地域周産期母子医療センターとしての役割を果たすためには看護師同士がお互いを認め、個々の経験を活かして学び支え合い病棟が一つのチームとして目標に向かっていく体制を作ることが必要である。これにより、赤ちゃんと家族を住み慣れた地域での暮らしにつなぐ、質の高い看護を提供することを目指していく。

5 今後の目標

安心・安全を基本とした後遺症無き生存を目指した集中ケア、その後の発達を促すディベロップメンタルケア、赤ちゃんと家族が安心して地域で暮らすための支援を行い、これからも、大切な命を多職種と連携しながら、育んでいく。